



橋台部分に3色で示された水位基準  
大村川(寺前橋/白山町上ノ村)

## 河川は誰が管理しているの？ ～水位観測所が設置されていない河川の避難基準～

台風による豪雨や突発的で局地的な集中豪雨等により、毎年のように津市内でも被害が発生しています。平成26年の台風第11号では、三重県で初めて大雨特別警報が発表されるなど、近年発生する台風やゲリラ豪雨に対しては、これまでも増して警戒が必要です。

**ねえねえ、シロモチくん。大雨で河川の水位が上がってくると、洪水が起きるんじゃないかと心配になるけど、河川っていったい誰が管理しているの？**

**大きさによって、管理しているところが違うんだよ。わかりやすく言うと、川幅も広く、流れる水の量が多い大きな河川は国や県が管理していて、規模が小さい河川は**



雲出橋観測所/雲出川

市が管理しているんだよ。

**じゃあ、水位は誰が測っているの？**

**国や県が管理する河川には水位観測所が設けられていて、常に水位を測定しているんだ。**

**市内に水位観測所はいくつあるの？**

**28カ所に設置されているよ。**

**大雨の時は、川の水位がどのくらいあるのか、私たちもすごく気になるよね？**

**観測された水位データはインターネットで公開されているから、誰でも見ることができるよ。28カ所ある水位観測所のうち、氾濫すると大きな被害が予想される9河川11カ所については、これまでの観測データや科学的なシミュレーションに基づいて水位の基準が3段階に分かれて表示されているんだよ。**